



二部小学校では、「読み聞かせ」を始め多くの学習活動に、地域の方々の支援をいただいています。

総合的な学習の時間では、二部地区にもあった「たたら製鉄」について学習し、日野町の「たたら楽校」に出かけました。江戸時代末期には、日野郡と奥出雲で日本の約8～9割の鉄を生産していたことや鉄の精製方法について、たたら顕彰会の方より説明を受けました。

また、海のない二部地区ですが、クラブ活動では毎年学校のプールでヨットのセーリング方法を指導していただいています。今年は活動予定日に雨の日が多く十分な活動ができませんで

したが、かわりに船の世界で必要なロープの結び方などについて学びました。9月には1・2年生が先輩児童の指導を受けながら、ヨットのセーリングに挑戦しました。

今後も地域の皆さんと共に子どもたちを育てていきたいと思えます。引き続きよろしくお願ひします。



▲たたら製鉄の説明を受けています



▲ヨットの「セーリング」の様子

「学校支援地域本部」は「地域学校協働本部（ほうきてごネット）」となりました

問い合わせ先

二部小学校 TEL:0859-62-7103

ALT通信

VOL.81



このコーナーは、ALT(外国語指導助手)によるエッセイを、英語と日本語で紹介します。

Last month I met a French traveler named Julian on the boat back from Korea. Julian rode his motorbike from France across Europe, Russia, Mongolia, and finally has come to Japan for a year to explore it. He stayed in Mizokuchi for one month. Houki-cho's people did many kind things for Julian. Julian has dreamed of coming to Japan all his life, but your kindness and Houki-cho's beauty surpassed his all of his dreams.

There are many stories like this, every second, all over the world. We create memories, good and bad for each other.

Julian will come back at the end of October to see Daisen's fall colors.

This is the most proud I have ever been of Houki-cho.

Peter

先月、韓国から帰りの船で、ジュリアンというフランス人に出会いました。ジュリアンはオートバイでフランスからヨーロッパを横断し、ロシア、モンゴルと渡り、そしてつ

いに、日本にやって来て、1年間で日本全国を旅して回るつもりでいます。彼は1か月、溝口にいました。伯耆町の人たちはジュリアンにいろいろと親切にしてくれました。ジュリアンは今までずっと日本に来るのを夢見ていましたが、みなさんの優しさや、伯耆町の美しさは、ジュリアンの想像をはるかに越えるものでした。

世界ではこんなふう刻々とたくさんのストーリーが展開しています。僕らは思い出を作ります。それはお互いにとって良くもあり苦くもあり。

ジュリアンは10月の末、大山の紅葉を見るために戻ってきます。僕にとって、最も伯耆町を誇りに思う時期です。ピーター

